

住みやすく 魅力あるまち 平石!!

平石地区地域ビジョン



平成30年 3月

平石地区地域ビジョン策定委員会

目 次

1	地域ビジョン策定の趣旨	1
2	平石地区の概要	2
3	平石地区の現況	6
4	平石地区の意識調査	8

地域ビジョン重点項目

1	住みやすく活力あるまちづくり	14
2	安全・安心なまちづくり	16
3	環境に優しいまちづくり	18
4	歴史文化を活かしたまちづくり	20
5	高齢者や子どもの夢を活かしたまちづくり	22
6	感性と創造性を活かしたまちづくり	24

参考資料

•	平石地区地域ビジョン策定委員会設置要領	26
•	平石地区地域ビジョン策定経過	27
•	平石地区地域ビジョン策定委員名簿	28
•	平石あんない	30

1 地域ビジョン策定の趣旨

地域まちづくり計画（地域ビジョン）は、地域住民自らが、地域の課題や特性を共有し、共通の目標を持って、連携・協力していくために、地域の現状（課題、特色など）を見つめ直し、①「自分達がどのようにしていきたいのか」、そのために②「自分達で何ができるのか」を考え、地域の目指すべき姿（地域の将来像）と、その実現に向けた取り組みを示したもの（指針）です。

地域ビジョンの目標とねらい

【目 標】	【ねらい】
1 住みやすく活力あるまちづくり ……	地域住民が多様な交流機会を活かせる地域づくり
2 安全・安心なまちづくり ……	防災・防犯・交通安全環境の整備された地域づくり
3 環境に優しいまちづくり ……	豊かな自然を大切に、景観を保全し地域住民が憩える自然環境と生活環境を整える
4 歴史文化を活かしたまちづくり ……	地域の存在する史跡等を活かし交流の場をつくる
5 高齢者や子どもの夢を活かしたまちづくり ……	高齢者の外出機会の拡大・創出と健康づくりと子どもの夢を通じてのまちづくり
6 感性と創造性を活かしたまちづくり ……	若者や女性の感性・創造性を活かし、イベントを通じてのまちづくり

地域ビジョンの策定方針

◇平石地区地域ビジョン（以下「地域ビジョン」という。）は、平石地区が安全で安心な地域として、住みやすく、魅力あるまちとして、これからの10年・20年後を見すえた目標を掲げ、住民の求める“まちの姿”を策定します。

◇地域ビジョンの策定には、地域住民の理解と総意を得ることが重要でありますので、地域住民の意向を尊重し策定します。

◇平石地区まちづくり協議会（以下「協議会」という。）を構成する自治会連合会、自治会、各種団体及び地区市民センター等の意見を踏まえて策定します。

◇地域ビジョンの策定を効果的に行うため、「平石地区地域ビジョン策定委員会」を設置し、地域ビジョンを策定します。

2 平石地区の概要

(1) 平石地区のあゆみ

◇宇都宮市の東部に広がる平石地区は、明治22年に施行された町村制のもと、それまでの7ヶ村（平出、石井、小原新田、柳田、峯（峰）、上越戸新田、下平出）の合併により平石村が誕生し、石井に役場が置かれました。

◇平石村の名称は、旧平出村と石井村の頭文字から由来しています。

平石村役場について、明治22年頃「行政を円滑にするため村の中央に」との議論が起こり、最も公平を期するにはどうするかとの熟議の末、当時の平石村の地図を二つ折りにした位置にすることで決したと云われています。

◇その後、宇都宮市や豊郷村に一部編入が行われた後、現在の平石地区に相当する平石村全体が、昭和29年に宇都宮市に編入合併され、現在に至ります。

◆地区年表

年次	主なできごと
明治7年	・志学舎（現在の平石中央小学校）が創立される ・平石南小学校が創立される
明治19年	・上平出小学校（現在の平石北小学校）が創立される
明治22年	・町村制の施行に伴い7ヶ村（平出、石井、小原、新田、柳田、峯（峰）、上越戸新田、下平出）が合併し河内郡平石村となる ・役場が大字下平出144-2に設置される
昭和16年	・大字峯（峰）が宇都宮市に編入される
昭和22年	・平石中学校が創立される
昭和23年	・平石村農業協同組合が設立される
昭和25年	・平石村公民館が大字下平出253に設置される
昭和26年	・大字上平出の一部と大字上越戸新田の大半が宇都宮市に編入される ・大字上平出の一部が豊郷村に編入される
昭和29年	・平石村は宇都宮市に編入合併する ・平石村役場が平石支所となる ・平石村農業協同組合が平石農業協同組合と改称される
昭和32年	・平石支所が機構改革により平石出張所となる
昭和35年	・平石中学校が廃校となり陽東中学校・泉が丘中学校に編入される
昭和45年	・平石南小学校が廃校となる
昭和56年	・鬼怒中学校が創立される
平成14年	・平石地区市民センターを設置、公民館を生涯学習センターに改編される ・平石公民館の跡地に平石地区市民センターが新築完成する
平成16年	・保健と福祉の総合窓口の東部地区（石井、清原、瑞穂野）の拠点となる
平成17年	・地区市民センターが支所に位置づけられ、行政機能・権限が強化される

(2) 平石地区の地勢

◇平石地区の位置

- * 平石地区のうち西側は、宇都宮市の中心部から東方約 3 kmに位置し市街地が連続して広がりを見せており、その東側は鬼怒川まで肥沃な田園地帯を形成している。
- * 平石地区の西は市街地や平出工業団地、東は鬼怒川を挟んで清原地区、南は瑞穂野地区、北は河内地区に隣接しており、東西約3.5km、南北約 8 kmの楕円形の地域である。

◇平石地区の道路

○昭和期までの道路

- * 国県道は縦横に完備し、村道平出神社前通り（上平出宇都宮線）は屈曲甚だしく、村道中最も寂しい道路でおいはぎなどが多い街道であった。
- * 石井街道（県道宇都宮水戸線：旧名水戸北街道）は、明治初年頃まで現在の石井旧街道が水戸街道の本街道であった。
- * 辰街道は、平石村を南北に貫いており、屈曲甚だしく、道幅も狭く（6尺から9尺位）、昭和7年道幅3間に改修された。

○平成の道路

- * 平石地区の主要道路は、中心部を東西に結ぶ新旧の柳田街道と水戸街道のほか、南北には新国道4号バイパスや辰街道（県道岡本上三川線）があり、交通量も多く産業や生活を支える重要な路線である。
- * 宇都宮テクノ街道（新鬼怒川渡河道路）
市東部地域の鬼怒川渡河部において朝夕を中心に発生している深刻な交通渋滞を解消するため、栃木県が平成14年度から柳田大橋（鬼怒通り）北側に、新4号国道バイパス平出街道交差点から芳賀高根沢工業団地入口まで、延長約7.4kmの区域に新たな道路を整備し、鬼怒川を東西に結ぶ交通網を充実させ、地域の利便性向上に寄与し、産業・経済の発展を目指している。この道路は宇都宮市街地と鬼怒川左岸地域を連結する東西交通軸として位置づけている。
平成20年3月に板戸大橋を含む辰街道まで延長約4.7kmを部分開通し、平成25年6月に現在地まで延長約0.9kmを部分開通した。残る新4号国道バイパス平出街道交差点まで延長約0.6kmを建設中であり、平成31年春の全線供用を目指している。

◇平石地区の交通

- * 奈良時代より、衣川駅家（きぬかはのうまや）として交通、交易の中心地帯で、宇都宮よりも賑わっていた。江戸時代は、宇都宮および近村の荷物の集散が、川を中心に行われ、特に下柳田は道場宿を経て、旧水戸街道に通ずる鬼怒川の渡船場として相当に栄えた。

* 昭和40年代には、辰街道に、駒生から国鉄宇都宮駅、越戸を經由し上平出まで関東自動車バスを運行していたが、自家用自動車の普及に伴う利用者の減少等により廃止された。その後、上柳田町に柳田車庫が設置され、駒生からJR宇都宮駅・越戸を經由し柳田車庫までの柳田車庫線が開設された。

* 現在（平成29年）の交通

石井街道、平出街道、旧柳田街道、新柳田街道などを路線とするバスの交通網は、関東自動車、東野交通、JRバスの3社が、駒生車庫、JR宇都宮駅、宇都宮東武駅等を起点にして、柳田車庫、芳賀バスターミナル、海星学院、平出工業団地方面に運行している。

* 地域内交通

地域内交通は、これからの超高齢社会などに対応するため、既存の鉄道やバスに加え新たにタクシーなどの小型車両を活用し、地域内をきめ細かく運行し、日常生活に必要な移動手段となるものである。更に、鉄道やバスとの連携を図り公共交通ネットワークの構築を目指している。

○名称(愛称) 「ひらり号」

○運行開始 平成28年3月1日（平成29年3月1日より本格運行に移行）

○運行範囲 平石地区全域及び石井・宇都宮駅東・清原・河内地区の一部

◇平石地区の面積

平石地区の面積（石井・陽東地区を含む）は21.12km²で、本庁を除き9番目の面積を有している。

【宇都宮市の面積】 416.84km²（平成29年1月現在）

単位：km²

地区名	平石	上河内	河内	清原	城山	本庁	篠井
面積	21.12	56.96	47.72	42.07	39.43	37.13	26.57
地区名	豊郷	国本	姿川	瑞穂野	横川	雀宮	富屋
面積	24.64	24.24	23.84	19.52	18.55	18.00	17.00

(3) 平石地区の世帯数及び人口

◇平石地区の世帯数

平石地区の世帯数は、平成29年5月には2,431世帯を数えている。平成26年からの推移は表のとおりとなっている。わずかながら増加傾向にある。

単位：世帯

年	平出町	柳田町	下平出町	計
平成26年3月末	1,677	165	517	2,359
平成27年3月末	1,697	170	523	2,390
平成28年3月末	1,684	168	537	2,389
平成29年5月末	1,736	165	530	2,431

◇平石地区の人口

平石地区3町（平出、柳田、下平出）の人口の推移は下表のとおりとなっている。
各町ともわずかだが減少傾向にある。

平石地区の人口

単位：人

町名	区分	平成26年 3月末	平成27年 3月末	平成28年 3月末	平成29年 3月末
平出町	男	2,075	2,053	2,033	2,052
	女	1,912	1,882	1,886	1,877
	計	3,987	3,945	3,919	3,929
柳田町	男	241	244	240	232
	女	244	249	244	232
	計	485	493	484	464
下平出町	男	665	673	683	674
	女	735	724	727	700
	計	1,400	1,397	1,410	1,374
総計	男	2,981	2,970	2,956	2,958
	女	2,891	2,865	2,857	2,809
	計	5,872	5,835	5,813	5,767

(4) 平石地区の産業

- * 平石地区は鬼怒川の西側に広がる水田地帯で大規模な農業が行われている。
- * 土地利用は鬼怒川沿いに農地が広がり、農地率は35%で河内、上河内に次いで最も高い比率で、水田率も92%と高い地域である。
- * 圃場整備もほぼ完了し、中心部には東部地区カントリーエレベーターが整備され米麦の生産に力点を置いている。
- * 農家数、稲作農家率は市内で2番目に高く、麦作農家数も多く、稲作からの転作も進んでいる地域である。
- * 生産農産物は、トマト、きゅうり、ブロッコリー、苺、ニラ、春菊などの野菜、梨などの果樹、ゆりなどの花卉と多種に及んでいる。

【農林業センサス統計】（平成27年2月現在）

面積単位：a

地区	農家戸数（戸）	農業従事者（人）	経営面積（1戸当たり）
平石	427	932	213.4
全市	5,218	10,360	251.2

地区	耕地総数	田	樹園地	畑
平石	56,348	51,322	113	4,913
全市	989,904	866,155	33,354	90,395

3 平石地区の現況

(1) 町名

◇平出町：旧平石村上平出と同村下平出の一部。明治22年の町村制実施により平石村の大字となり、昭和29年の宇都宮市との合併により現在の町名となる。

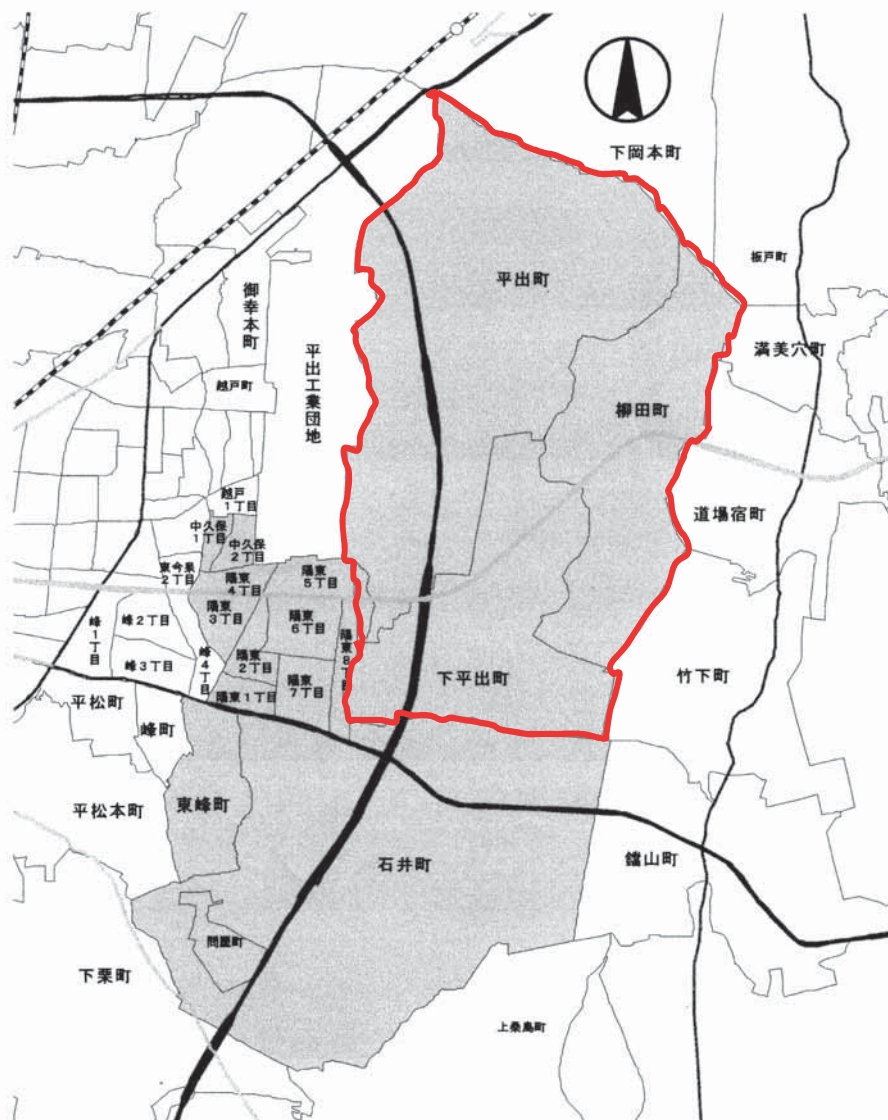
自治会：中平出、免の内、東組、東組東、北組、本郷北組、広町、関口、鶉内、上滝、若杉

◇柳田町：明治9年に柳原新田から改称、明治22年の町村制実施により平石村の大字となり、昭和29年の宇都宮市との合併により現在の町名となる。

自治会：下柳田南、下柳田北、上柳田

◇下平出町：江戸期から明治22年までの村名。明治22年の町村制実施により平石村の大字となり昭和29年の宇都宮市との合併により現在の町名となる。

自治会：前表、今宿、三井寺、山下、馬場尻、阿久戸、北原・小原



平石地区略図（平成29年）

(2) 平石地区の主な施設

- ◇行政 * 平石地区市民センター（併設）平石生涯学習センター（旧平石公民館）
- ◇警察 * 栃木県宇都宮東警察署平出町駐在所
- ◇消防 * 管轄消防署 宇都宮東消防署（常備消防）
 - * 宇都宮東消防署平石分署
 - * 消防団 宇都宮市消防団平石分団（第1部～第13部で編成）
- ◇郵便・金融機関 * 平出郵便局
 - * J A宇都宮平石支所
- ◇公園・緑地 * 柳田緑地（運動公園）
 - * 平出工業団地公園
- ◇教育施設（学校） * 宇都宮市立平石中央小学校
 - * 宇都宮市立平石北小学校
 - * 宇都宮市立鬼怒中学校

(3) 平石地区の主な寺社

- * 広琳寺 * 平出神社 * 諏訪神社 * 金井稻荷神社
- * 八幡神社 * 星の宮神社 * 庚申神社 * 稻荷神社 * 鷲子神社

(4) 平石地区の主な文化財等

◇文化財

- * 広琳寺 シダレザクラ（市指定天然記念物）
 - 木造阿弥陀如来坐像（市指定有形文化財）
 - 銅造大日如来坐像（市指定有形文化財）

◇天然記念物等

- * 柳田緑地のクロコムラサキ及びその生息地（市指定天然記念物）
- * 鬼怒川河川敷のカワラノギク生育地
- * 天棚（下柳田地区：保存会所有）

◇祭り・行事等

- * 天祭（天念仏・天道念仏など）
- * 各神社例祭 平出神社（梵天祭り）
 - 諏訪神社（百味祭・秋例祭）
 - 金井稻荷神社（すもう）
 - 星の宮神社（春祭り・祈願祭・秋祭り・例大祭）
 - 稻荷神社（お九日祭り）
 - 鷲子神社（お九日祭り）
 - 地藏さま 権現様 水神祭（水神さま）

4 平石地区の意識調査

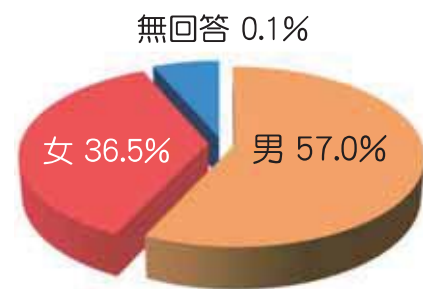
(1) 自治会加入者「意識調査アンケート」

地域ビジョン策定に当たり、地域住民の方々が「平石地区を“どの様に見ているのか”“何を求めているのか”」をアンケート調査により把握し、そのニーズを“地域ビジョン”に活かすこととした。アンケート調査の結果については、次のような状況でした。

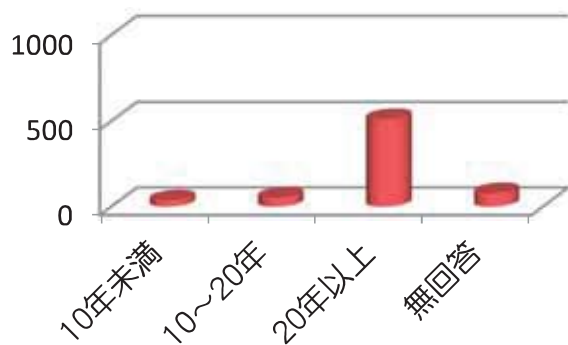
- 調査期間 平成27年10月1日から10月20日
- 調査対象 自治会加入世帯（自治会とりまとめ）
- 調査方法 アンケート調査方式
- 回答者数 677名（男386 女247）

◇回答者のプロフィール（基本的事項）

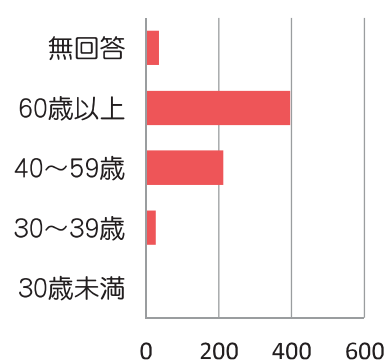
- *性別は、男57.0%（386名）女（247名）
- *年齢層は、60歳以上が58.6%と過半数を占めた。
- *居住年数は、20年以上が75.5%と大半を占めた。



性別



居住年数（人）

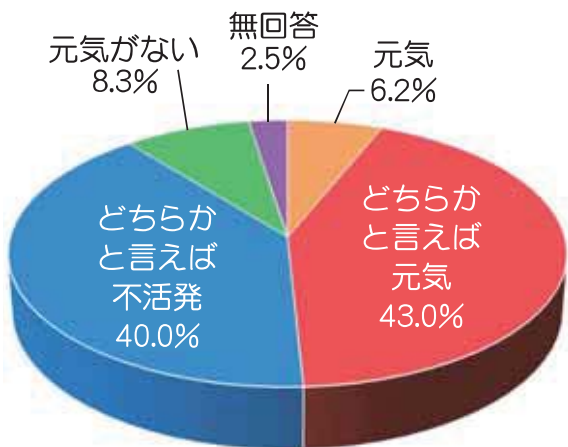


年齢層（人）

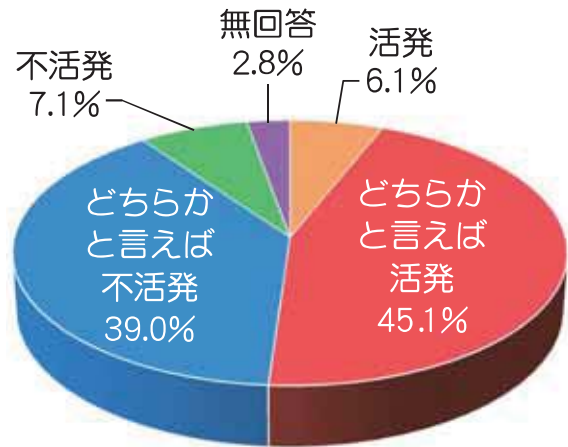
◇調査項目（設問）は、9項目で、問8及び問9は複数回答（3つまで）です。

設問項目は次のとおりです。

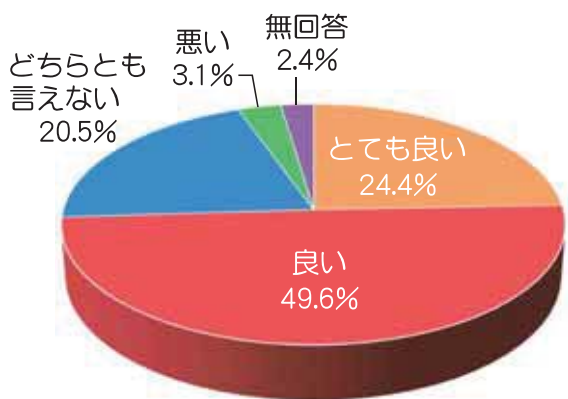
- *問1：平石地区は活気のあるまちか？
- *問2：地域住民の交流はどうか？
- *問3：平石地区の住み心地は？
- *問4：自治会などの付き合い度合いは？
- *問5：平石地区に今後も住み続けたいですか？
- *問6：「まちづくり」への参加の考え方は？
- *問7：趣味や特技を活かす考え方は？
- *問8：地域における関心事は？
- *問9：平石地区が抱える問題点は？



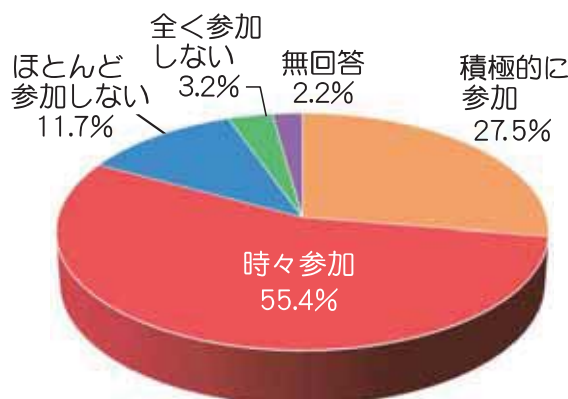
問1 平石地区は活気のあるまちだと思いますか



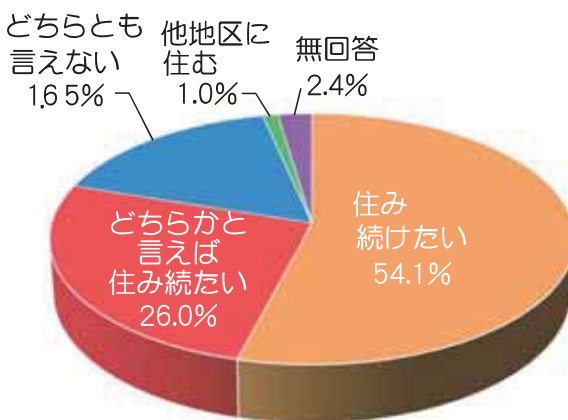
問2 地域住民の交流は活発だと思いますか



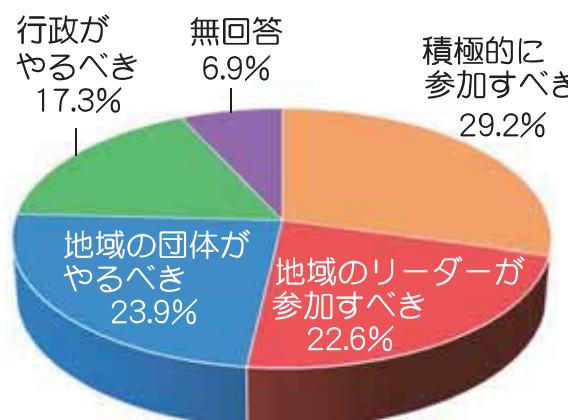
問3 平石地区の住み心地はどうですか



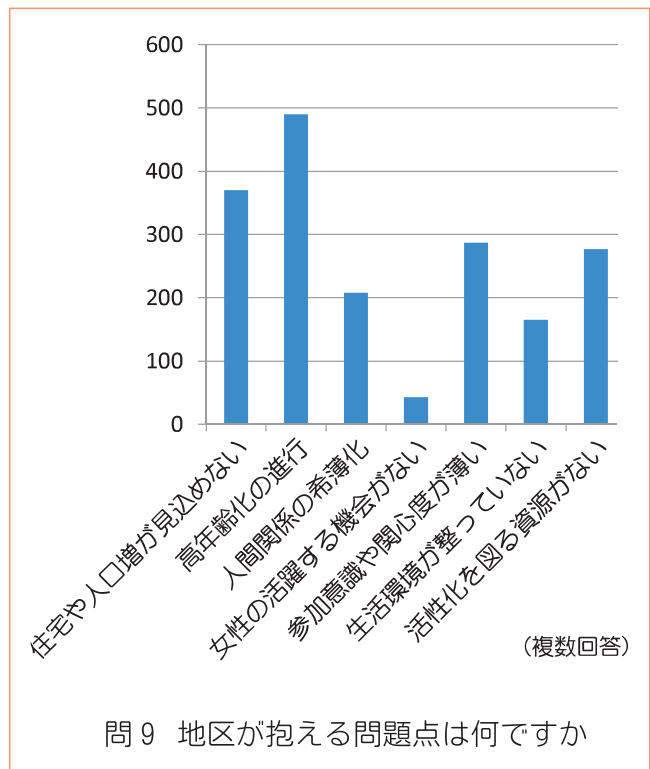
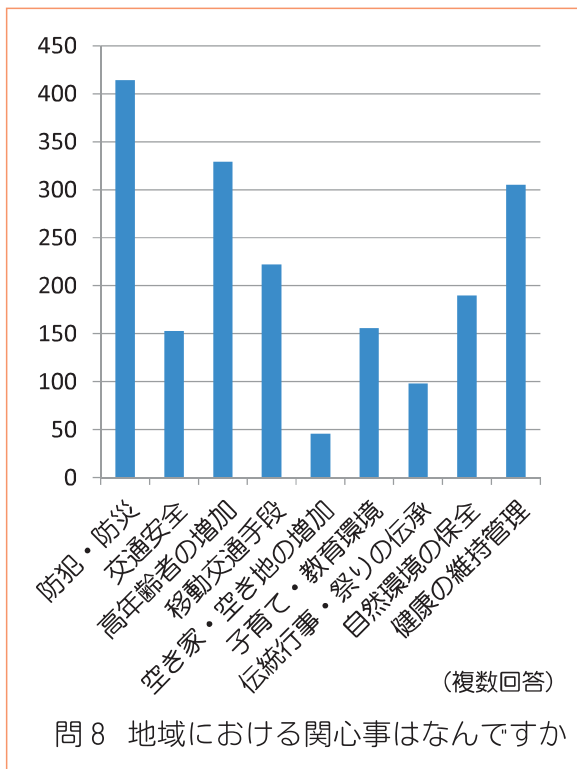
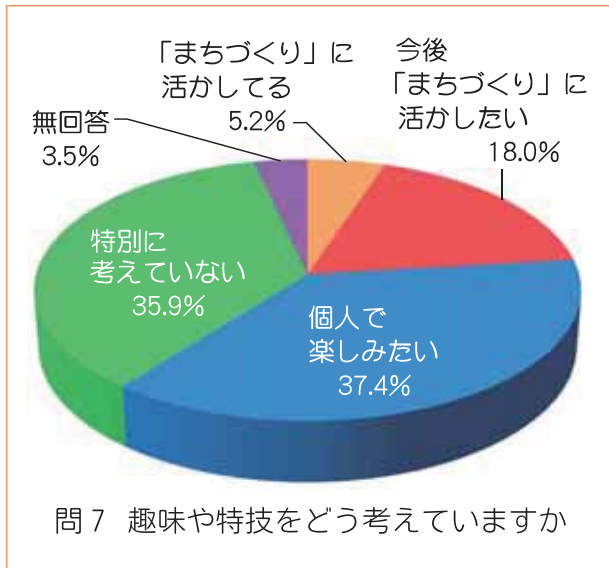
問4 自治会などの付き合いの度合いの程度は



問5 平石地区に今後も住み続けますか



問6 「まちづくり」への参加をどう考えますか



(2) 「文化祭」におけるアンケート調査 ※この調査には、宇都宮大学の協力を得て行いました。

○調査期日 平成27年11月8日(日)
○調査対象 文化祭来場者 50名

○調査方式 アンケート方式(当日回収)
○回答者数 男13名 女35名 無回答2名

◇設問は、自治会加入者と同じ設問でしたが、問8及び問9の回答について掲載します。

問8 地域における関心事は何ですか？
(複数回答)

1 防犯・防災	18.6%
2 子育て・教育環境	5.3
3 移動交通手段	11.3
4 交通安全	8.0
5 高齢者の増加	8.0
6 伝統行事・祭りの伝承	8.0
7 自然環境の保全	5.3
8 健康の維持管理	5.3
9 空き家・空地の増加	3.3

問9 平石地区が抱える問題点は？
(複数回答)

1 住民の高年齢化の進行	19.3%
2 住宅増や人口増が見込めない	16.6
3 地域をアピールし活性化を図る資源がない	13.3
4 近所隣人との人間関係の希薄化	11.3
5 自治会・地域活動への参加意識が薄い	10.0
6 女性の活躍(参加)する機会がない	4.0
7 安全で安心して暮らせる環境が整っていない	2.0

(3) 小学生アンケート

○調査対象 平石中央小学校(78名)及び平石北小学校(195名)の児童
○調査方式 アンケート調査
○調査期間 平成27年10月1日～10月20日の間で学校に一任
○回答者数 273名

◇小学生には7問アンケート調査しましたが、地域との関連性が見込まれる項目については、表のとおりでした。なお、設問は次のとおりです。

- 問1 近所の人に、自分から進んであいさつをしていますか
問2 近所の方は、あなたより先にあいさつしてくれますか
問3 子供会や地域の行事に参加していますか
問4 通学のときに怖いと感じたことや場所・物がありますか
問5 遊んでいるとき、怖いと感じたことや場所・物がありますか
問6 大人になっても平石地区に住みたいと思いますか
問7 平石地区の中で、好きなものを4つ書いてください

【問3 子供会や地域の行事に参加していますか】

- ・参加している 48.0%
- ・時々参加 42.5%
- ・参加してない 8.4%

【問6 大人になっても平石地区に住みたいですか】

- ・住みたい 32.2%
- ・住みたくない 12.1%
- ・分からない 53.8%

【問7 平石地区の中で好きなもの】(複数回答)

豊かで静かなところ／鬼怒川がきれい／空気がきれい(良い)／公園が広く自然が多い／みんな親切で助け合う／田圃のある自然／農業が盛んでお米が美味しい／おいしい食べものができる／行事がいっぱいある／地域の人との仲が良い／やさしい人が多い／危険な場所が少ない

実践チャート

平石地区地域ビジョン

「住みやすく魅力あるまち」を目指して！

地域ビジョン目標

- ◆住みやすく活力あるまち
- ◆安全・安心なまち
- ◆環境に優しいまち
- ◆歴史文化を活かすまち
- ◆高齢者・子どもの夢を活かすまち
- ◆感性・創造性を活かすまち

実現に向け取り組みます

すべての住民が

すべての分野が

すべての地域団体が

【中・長期の活動を推進する体制の確立に向けて】

少子・超高齢化、人口減少などが暮らしに様々な影響を及ぼすことが予想されます。将来も子どもから高齢者まで安心して便利に暮らせるまちの将来構想として、平石地区地域ビジョン（平石地区地域ビジョン策定委員会）、平石地区福祉ビジョン（平石地区福祉のまちづくり計画策定推進委員会）を策定するものです。また、宇都宮市の将来構想である「ネットワーク型コンパクトシティ（NCC）」とも相互に関連があり、計画の具体化に向けた取り組みが必要となるものと考えられます。今後、これらの活動を推進するため、新たな組織による体制の確立に向けて取り組むことが重要となります。

「地域ビジョン」の推進体制

「地域ビジョン」の推進体制

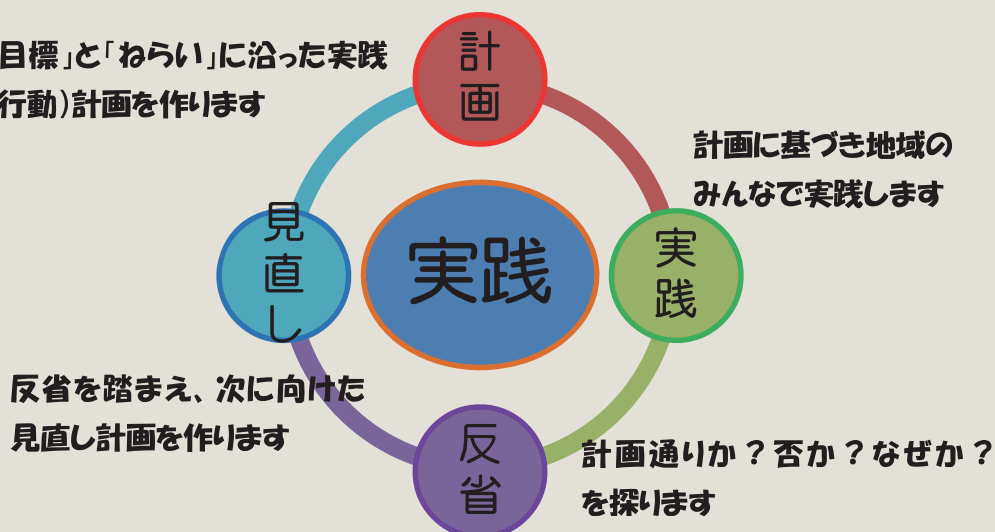
- 1 中・長期的にわたり継続的に取り組むことが重要で、各年代層・職業、そして男女などが参加できる推進体制づくりを目指します。
- 2 まちづくり活動に新たに参加される方々が、気概をもって活動できる環境の形成が必要であり、平石地区の皆さんがビジョンの取り組みに参加できることを目指します。
- 3 宇都宮市の目指すネットワーク型コンパクトシティ（NCC）のまちづくり構想を、具体的な取り組みの中でより効果的かつ有効な手段として活用することを目指します。
- 4 平石地区福祉のまちづくり計画（平石地区福祉ビジョン）とも、連携が図れるよう配慮します。

【実践サイクルの運用】

- 1 【計画】まちづくりの柱（目標）のねらいに沿って、目標達成のための実践（行動）プログラムを話し合いにより作ります。
- 2 【実践】計画に基づき、実践（行動）します。
- 3 【反省】計画通り目標が達成できたか、なぜ達成出来なかったのか、その原因や要因を分析します。
- 4 【見直し】分析の結果を踏まえて、計画（目標・ねらい等）の見直しを行い、次の計画に反映させます。

短期目標、長期目標（例：5カ年）を設定し取り組むと効果的・効率的

「目標」と「ねらい」に沿った実践
（行動）計画を作ります



【地域ビジョン実践サイクル】

1 住みやすく活力あるまちづくり

【ねらい】

地域住民が多様な交流機会を活かせる地域づくり

【現 状】

- 1 住宅や人口の増加が見込めないとの意識が定着している
- 2 高齢化が進行している
- 3 人間関係の希薄化が進み、まちづくり活動への参加意識や関心度が低い
- 4 地域の活性化を図る資源がない
- 5 生活環境が整っていない

【目 標】

- 1 地域コミュニティの多様化を進め、交流機会の拡大を図る
- 2 魅力ある事業（行事）を実施し、住民の触れ合いを深める
- 3 協働の体制を構築するため、各種団体の連携強化を図る
- 4 地域の活性化を図るため、地域外からの誘客を推進する
- 5 生活環境を整備し、安全・安心なまちづくりを進める

【実現に向けた具体的な取り組み】

- 1 若者の出会いの場を創出するイベントを開催する
- 2 老若男女3世代のコミュニケーションの場を提供し、地域の盛り上げを図るため「盆踊り」などを開催する
- 3 地域内外から誘客するため、地域内にフラワーロードを整備する



平石地区体育祭



広琳寺のしだれ桜



健康づくり事業



ふれあいコンサート



地域内交通「ひらり号」



ねっこの会
(ひとり暮らし高齢者への弁当作り)

2 安全・安心なまちづくり

【ねらい】

防災・防犯・交通安全環境の整備された地域づくり

【現 状】

- 1 防災訓練への参加者が減少傾向にある
- 2 災害の発生の要因が、地震・風雨・河川の氾濫など多岐にわたり予測が困難である
- 3 高齢化の進展に伴い、交通安全、防犯意識、防災意識の低下が懸念される
- 4 隣近所の付き合いの希薄化が進行している

【目 標】

- 1 現在、実施している事業を点検し、継続・見直しなどを含め検討し、効果的な事業の実施に努める
- 2 高齢化に伴う、高齢者への啓発活動の充実を図る
- 3 警察や地区の交通安全協会との連携を図り、事業の充実を図る
- 4 地域内に所在する福祉施設との連携強化を図る

【実現に向けた具体的な取り組み】

●防 災

- 1 各自治会に沿った「身近な防災訓練」を実施する
- 2 災害時の防災体制の見直しを図る
- 3 災害情報伝達連絡網を有効活用する
- 4 災害時要援護者の支援を行う

●防 犯

- 1 防犯パトロールを実施する
- 2 防犯講演会を実施する
- 3 防犯標語の募集、優秀作品の表彰及び看板設置などの啓発活動を行う
- 4 警察（駐在所）、学校、地区市民センターと連携し危険個所などの点検活動を行う
- 5 市民総ぐるみ環境点検を実施する

●交通安全

- 1 交通安全講話を実施する
- 2 交通安全標語の募集、優秀作品の表彰及び看板設置などの啓発活動を行う
- 3 市民総ぐるみ環境点検を実施する



防災訓練（救出救護訓練）



交通安全・防犯講演会



防災訓練（A E D訓練）



救急救命講習会（婦人防火クラブ）



防災訓練（放水訓練）



夜間防犯パトロール

③ 環境に優しいまちづくり

【ねらい】

豊かな自然を大切にし、景観を保全し地域住民が憩える自然環境と生活環境を整える

【現 状】

- 1 地域内にどのような優れた自然や景観があるのか知られていない
また、あっても十分に活かされていない
- 2 鬼怒川に隣接し農地が多く、自然に恵まれた地域であるが、鬼怒川の自然環境などが住民の憩いの空間として十分に活用されていない
- 3 廃棄物の不法投棄防止、分別・リサイクルの推進、きれいなごみステーションの維持に改善の余地がある

【目 標】

- 1 豊かな自然環境の維持と生物多様性を保全する
- 2 自然を活かした新たな憩いの場所を創造する
- 3 鬼怒川の自然と水を活かして、自然探勝と農業を楽しむ人々を誘客する
- 4 農村の景観及び自然環境を保全する
- 5 廃棄物の不法投棄防止、ごみの分別による減量化・リサイクルによる資源化の推進、並びにごみステーションの美化を図る

【実現に向けた具体的な取り組み】

- 1 平石地区の誇れる自然、景観、文化遺産を示した「平石の環境20選マップ」を作成し、散歩やサイクリングによる地区内名所めぐりを進める
- 2 平石の誇れる光景写真展を企画し、地域の名所を掘り起こす
- 3 貴重なホタル・蝶・メダカ・野生植物などの保護を通して生物多様性の保全を図る
- 4 鬼怒川右岸の板戸大橋～鬼怒橋の間の堤防に桜並木を増やす
* 下柳田～阿久戸地区の区間の堤防 * 柳田緑地公園付近の活用
- 5 市民が鬼怒川に来て鬼怒川の自然を楽しめる様に、アクセス整備（道路整備）を働きかける
- 6 農地、農業用水路、農道などの自然環境を保全する
- 7 廃棄物の不法投棄監視・撤去、ごみの分別・リサイクルを推進（地区内の資源物集団回収を含む）する
- 8 ごみステーションの美化コンテストを行い、ごみステーションの美化向上を図る



鬼怒川のカワラノギク



柳田緑地のクロコムラサキ観察会



平石地区内めだかの学校



鬼怒川の自然観察会



文化祭ゴミ分別クイズ



不法投棄パトロール

4 歴史文化を活かしたまちづくり

【ねらい】

地域の存在する史跡等を活かし交流の場をつくる

【現 状】

- 1 地域に埋もれている歴史・文化などが体系的に整理されていない
- 2 地域の歴史・文化について、将来忘れられてしまう懸念がある
- 3 地域の情報を発信する手段がなく、資源が十分活用されていない
- 4 地域の歴史・文化などを後世へ繋ぐ仕組みができていない

【目 標】

- 1 地域にある社寺などの活用方策を検討する
- 2 「平石」に係る歴史の変遷資料を収集・整理し歴史書を編さんする
- 3 地域の歴史文化を解りやすく、常設展示できる環境をつくる

【実現に向けた具体的な取り組み】

- 1 平石の歴史や文化についての情報を収集し、冊子などにまとめる
- 2 地域の歴史・文化を後世に残す活動として、講座や講演会を開催する
- 3 歴史・文化資源情報をHPなどで発信し、内外からの誘客を図る
- 4 平石の歴史・文化についてPRできるボランティアを養成する
- 5 収集した情報を展示する常設のコーナーを適切な場所に設ける
- 6 平出神社・広琳寺・平出城などを歴史資源とした『まちおこし』をする
- 7 平出神社内に祀られる『城守神社』など新たな資源を発掘し発信する
- 8 地域の文化資源を発掘し、協力し合える環境をつくる
- 9 地域に残る資源を大切にし、愛しむ環境をつくる
- 10 市制100周年事業の『平石の四季』を地域の応援歌として歌い続ける



広琳寺（左から文殊堂・山門・しだれ桜）



平出神社（五穀豊穡と雷よけの神様）



星宮神社（五穀豊穡・疫病の神様）



平出家文書（宇都宮國綱官途状）



下柳田に残る天棚



「平石の四季」新たに編曲

次世代に伝えたい

宇都宮・鬼怒中生と吹奏楽部が初披露

次世代に繋ぐ『平石の四季』

5 高齢者や子どもの夢を活かしたまちづくり

【ねらい】

高齢者の外出機会の拡大・創出と健康づくりと子どもの夢を通じたまちづくり

【現 状】

- 1 高齢化社会が進行し、地域社会の活力が失われることが懸念される
- 2 少子高齢化が進行し、地域における子どもの数が減少している
- 3 地域に根差した先人の知恵と工夫や築いてきた文化が忘失する恐れがある
- 4 高齢者の外出機会が減少し、健康の保持が問題となることが懸念される

【目 標】

- 1 高齢者や子どもが、地域の人々と触れ合い、地域（人や生活）を知ることで理解を深める
- 2 高齢者や子どもが、一緒になって地域活動の担い手になり、子どもの夢を実現させ、希望あふれる郷土づくりを目指す
- 3 「平石地区福祉のまちづくり計画（平石福祉ビジョン）」の実現を目指す
- 4 「活力あふれる子ども」との交流を通じたまちづくりを目指す

【実現に向けた具体的な取り組み】

- 1 地域行事に、企画、計画から実施まで積極的に参加し、相互理解を深める
- 2 地域の祭りを通じて人々との交流、自然に触れ合う社会を実現する
- 3 スポーツを通じて共同作業の機会を増やし、子どもが自然に参加できるなど、「ペタンクの盛んなまち」を目指す
- 4 鬼怒川の自然を活用した「サイクリング」などの活動に参加し、広報活動を行う
- 5 高齢者の知恵を活かした、郷土の歴史を守り育てる活動を行う
- 6 子どもの意見や考えを反映する環境を作る



平石地区敬老会



たこあげ大会（柳田緑地）



健康サイクリング（鬼怒川サイクリングコース）



小学生とのペタンク交流会



金井稲荷神社例祭すもう大会



健康ウォーキング

6 感性と創造性を活かしたまちづくり

【ねらい】

若者や女性の感性・創造性を活かし、イベントを通じてのまちづくり

【現 状】

- 1 若者の参加が、地域の活性化には不可欠であり、地域全体の課題である
- 2 女性の地域参加が少ない
- 3 超高齢化社会をむかえ、介護問題など地域の自助、共助の取り組みが課題である
- 4 自然を守りはぐくむ取り組み（生物にとって優しい環境とは何かが問われている）

【目 標】

- 1 地域おこし素材（農産物・環境資源）を活用する
- 2 地域環境を活かした集客イベントを企画・開発し地域の活性化を図る
- 3 地域を担う女性団体の組織化を図る
- 4 地域資源を活かした、ふるさとの詩、物語を創造する（オンリーワンを形にする）
- 5 年代を超えて参加できる「ふれあい事業」を企画・開発し実践する

【実現に向けた具体的な取り組み】

- 1 豊かな感性と創造力を高める研修会などを実施する
- 2 「おもしろい」と感じる感性を集める
 - ① 農業体験（田植え、稲刈りなど）、家庭菜園や休耕地などを活用し、地域外との交流を図る
 - ② 地域資源を活かしたイベントを開催する
 - ③ 地域内の祭礼の紹介、地域外からの参加者受け入れにより活性化を図る
 - ④ 昔遊びの伝承と併せて指導者の育成を図る
 - ⑤ 郷土料理の伝承と普及（おばあちゃんの知恵）を進める
- 3 少子高齢化の時代であり福祉サロンや気軽に集える憩いの場所を確保する



ロビーコンサート（クリスマス）



ロビーコンサート（月例）



文化祭（特別講演会）



文化祭（模擬店）



文化祭（平央小・平北小の児童作品）



文化祭（鬼怒中美術部の作品）

平石地区地域ビジョン策定委員会設置要領

(目 的)

- 第1 地域住民が、平石地区の将来に求める姿及びその実現に向けた取り組みを検討するために平石地区地域ビジョン（以下「地域ビジョン」という。）策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(名 称)

- 第2 委員会は、平石地区まちづくり協議会会則に規定する企画委員会とし、名称を「平石地区地域ビジョン策定委員会」とする。

(構 成)

- 第3 委員会は、平石地区まちづくり協議会（以下「協議会」という。）が設置し、委員は各種団体等から推薦された者、地域代表者、その他策定にあたり協議会が必要と認めた者（以下「策定委員」という。）で構成する。
- 2 策定委員の任期は2年とする。

(委員会等)

- 第4 委員会に委員長1名、班長若干名を置く。
- 2 委員長、班長は策定委員の中から互選で選任する。
- 3 委員長は、委員会の運営・統括を行い、班長は委員長の補佐及び班の運営・統括を行う。

(事務局)

- 第5 委員会の事務局は、平石地区市民センター内に置く。

(業 務)

- 第6 策定委員会は、次の業務を行う。
- (1) 地域意見等の取りまとめ
- (2) 将来の求める姿の目標、課題、計画づくり
- (3) その他目的達成のための必要な事項

(情報の共有及び公開)

- 第7 策定委員会は、地域住民との情報を共有するため説明会等を開催するなど円滑な業務遂行に努める。
- 2 策定委員会は業務の進行状況等について、原則として公表するものとする。

(会 議)

- 第8 策定委員会は、委員長が招集し、その議長となる。
- 2 委員長が必要と認める場合は、策定委員以外の者を会議に出席させ、説明若しくは報告又は意見を求めることができる。
- 3 策定委員会における業務の進行等について、協議会役員会若しくは全体会議に報告する。

(そ の 他)

- 第9 この要領に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

- この要領は、平成28年6月16日から施行する。

◇ 平石地区地域ビジョン策定経過 ◇

平成28年度			平成29年度		
月	旬	取組み内容	月	旬	取組み内容
4			4		
5			5	29	◆第2回地域ビジョン策定委員会 (策定スケジュール見直し、 委員会の構成・運営の見直し)
6	16	◆まちづくり協議会全体会において、「平石地区地域ビジョン策定委員会設置要領」承認及び地域ビジョン策定計画を決定	6	27	◆第3回地域ビジョン策定委員会 (ビジョン内容の現状、課題 等班別検討)
7			7	10	◆第4回地域ビジョン策定委員会 (ビジョン内容の将来方向性 の班別検討)
8	15	◆地域ビジョン策定委員の募集	8	21 28	◆第5回地域ビジョン策定委員会 (策定方針、地区の概要・現 況の記述内容の検討) ◆第1回地域ビジョン策定委員 会班長会議(班別取組の進捗 状況の意見交換)
9	20	◆地域ビジョン策定委員の応募者 (9名)	9	25	◆第6回地域ビジョン策定委員会 (班別検討実践プログラム案 の記述内容検討)
10			10	16	◆第2回地域ビジョン策定委員 会班長会議(班別内容の調整、 記述様式)
11			11	13	◆第7回地域ビジョン策定委員会 (班別実践プログラムの素案 報告、意見交換)
12	17	◆各種団体に策定委員の推薦依頼	12	18	◆第3回地域ビジョン策定委員 会班長会議(班別実践プログ ラムの調整、意見交換)
1			1	9 26 30	◆第8回地域ビジョン策定委員会 ◆第4回地域ビジョン策定委員 会班長会議 ◆第9回地域ビジョン策定委員会
2			2	13	◆第5回地域ビジョン策定委員 会班長会議
3	14	◆第1回平石地区地域ビジョン 策定委員会(地域ビジョン目 標・ねらい、委員会運営、策 定スケジュールの説明)	3	5	◆第6回地域ビジョン策定委員 会班長会議

◇ 平石地区地域ビジョン策定委員名簿 ◇

職 名		氏 名	所属団体等名称	年 度
委員長(総括)		高 橋 勉	まちづくり協議会	H28～H29
委員(1班長)		保 坂 良 兵	東組東自治会	H28～H29
委員(2班長)		関 正 典	防犯部会	H28～H29
委員(3班長)		今 井 信 行	環境部会	H28～H29
委員(4班長)		印 南 洋 造	北組自治会	H28～H29
委員(5班長)		亀和田 武彦	東組自治会	H28～H29
委員(6班長)		五月女 幸夫	上柳田自治会	H28～H29
1 班	委員	田 崎 肇	体育協会	H28～H29
	委員	平 出 清 一	活力あるむらづくり	H28～H29
	委員	鈴木 勝雄	地域内交通運営協議会	H28～H29
	委員	枝 野 啓 子	社会福祉協議会	H28～H29
	委員	高 崎 国 昭	今宿自治会	H29
	委員	黒 崎 正	阿久戸自治会	H28～H29
	委員	水 沼 美 道	北原小原自治会	H28
	委員	菊 池 英 男	北原小原自治会	H29
2 班	委員	小 林 典 代	婦人防火クラブ	H28～H29
	委員	吉 澤 節 子	婦人防火クラブ	H28～H29
	委員	坂 本 和 一 郎	下柳田北自治会	H28～H29
	委員	菊 地 弘 美	免の内自治会	H28
	委員	吉 澤 幸 夫	免の内自治会	H29
	委員	南 木 真 一	鶉内自治会	H29
	委員	釜 井 健 司	防災福祉ネットワーク	H28～H29
3 班	委員	鮎 澤 千代子	三井寺自治会	H28
	委員	菊 池 倫 史	三井寺自治会	H29
	委員	小 泉 正 二 郎	馬場尻自治会	H28～H29
	委員	板 橋 久 夫	本郷北組自治会	H28
	委員	八 幡 浩 章	本郷北組自治会	H29
	委員	高 松 実	若杉自治会	H28
	委員	山 口 秀 三	若杉自治会	H29

	職 名	氏 名	所属団体等名称	年 度
4 班	委 員	郷 間 サヨ子	情報ネットワーク	H28～H29
	委 員	菊 地 昭 三	東組自治会	H28～H29
	委 員	砂 川 隆	応募委員	H28～H29
	委 員	高 橋 淳	応募委員	H28～H29
	委 員	岡 田 正 侑	山下自治会	H28
	委 員	佐 藤 征 英	山下自治会	H29
	委 員	今 井 三 國	下柳田南自治会	H28
	委 員	小 林 邦 仁	下柳田南自治会	H29
	委 員	関 明 生	北組自治会	H29
5 班	委 員	吉 田 治	社会福祉協議会	H28～H29
	委 員	吉 田 良 司	青少年育成会	H28～H29
	委 員	吉 井 忠 男	老人クラブ連合会	H28～H29
	委 員	郷 間 雅 美	健康づくり推進協議会	H28～H29
	委 員	藪 仁	応募委員	H28～H29
	委 員	武 藤 賢	応募委員	H28～H29
	委 員	山 田 泰 三	応募委員	H28～H29
	委 員	田 村 進	前表自治会	H28
	委 員	鈴 木 誠 一	前表自治会	H29
	委 員	舘 野 康 宏	上滝自治会	H28
	委 員	田 邊 博 史	上滝自治会	H29
6 班	委 員	田 崎 敬 典	体育協会	H28～H29
	委 員	鈴 木 久 子	青少年育成会	H28～H29
	委 員	大 海 二 朗	平石中央小学校P T A	H28
	委 員	伊 藤 浩 二	平石中央小学校P T A	H29
	委 員	森 康 宏	平石北小学校P T A	H28
	委 員	吉 原 孝 治	平石北小学校P T A	H29
	委 員	吉 田 直 文	中平出自治会	H28
	委 員	石 原 典 男	中平出自治会	H29
	委 員	吉 澤 恭 一	東組自治会	H29
	委 員	鈴 木 哲 夫	広町自治会	H28～H29
	委 員	森 文 隆	関口自治会	H28～H29

◇ 平石あんない（農業関係） ◇



平石農産物直売所



カントリーエレベーター



平石地区の農産物など



トマト



なし

◇ 平石あんない（お祭り） ◇



平出神社（福まき）



平出神社（梵天祭り）



平出神社（子ども神輿）



平出神社（梵天祭り）



星の宮神社（秋祭例大祭）



諏訪神社（太々神楽）

宇都宮市制100周年と『平石の四季』

宇都宮市は1996年、市制100周年を記念して、各自治会連合会単位で地域イベントを実施することになり、平石地区では体育・文化の2部会を立ち上げイベントを検討しました。

体育部会は従来の体育祭に100周年を冠した平石地区体育祭を実施しました。

一方、文化部会は地域住民による手作りの『平石地区の歌を作ろうと』大きな目標を掲げ、歌詞を募ったところ中学生から高齢者に至る8名から10作が寄せられ、印波ナカさんの『平石の四季』を選考、一部修正し歌詞としました。

次に、作曲は平石北小の元校長小林時久先生、歌は関口地区出身の藍原寛治先生、ピアノ伴奏は星野文子先生にお願いの運びとなりました。

録音はNHK宇都宮放送局の特段の計らいにより局内のスタジオで録音、その音源をカセットテープ化し各戸配布しました。同年11月17日平石北小体育館に於いて、『平石音楽祭』と題し、地域・平央小・平北小・鬼怒中生が出演し、小林先生・藍原先生の歌唱指導をいただき全員で斉唱しました。以後、平石地区体育祭では開会に先立ち歌われてきたところです。

その後、2016年に鬼怒中学校吹奏楽部に関していただく事からピアノ伴奏曲を吹奏楽に編曲し、平石地区文化祭に初めてお披露目の場となりました

このように、地域住民の手作りの歌は他に類例がないところであり、当平石地区の歌として多くの皆様に永く愛唱されますことを希望します。

四	三	二	一	平石の四季 作詞 印波 ナカ 作曲 小林 時久
雷 <small>らいでん</small> 神 <small>じん</small> 社 <small>しゃ</small> に <small>に</small> 広 <small>こう</small> 琳 <small>りん</small> 寺 <small>じ</small> 新 <small>あら</small> た <small>た</small> な <small>な</small> 年 <small>とし</small> へ <small>へ</small> 祈 <small>いの</small> りを <small>を</small> 込 <small>こ</small> め <small>て</small> 平 <small>ひら</small> 石 <small>いし</small> の <small>の</small> 冬 <small>ふゆ</small> し <small>し</small> と <small>と</small> や <small>や</small> か <small>か</small> に <small>に</small> 大 <small>おお</small> き <small>き</small> な <small>な</small> 夢 <small>ゆめ</small> を <small>を</small> つ <small>つ</small> な <small>な</small> げ <small>げ</small> ま <small>ま</small> す	元 <small>げん</small> 気 <small>き</small> な <small>な</small> 挨拶 <small>あいさつ</small> 聞 <small>き</small> こ <small>こ</small> え <small>え</small> ま <small>ま</small> す 平 <small>ひら</small> 石 <small>いし</small> の <small>の</small> 秋 <small>あき</small> た <small>た</small> お <small>お</small> や <small>や</small> か <small>か</small> に <small>に</small> 工 <small>こう</small> 業 <small>ぎょう</small> 団 <small>だん</small> 地 <small>ち</small> 躍 <small>やく</small> 動 <small>どう</small> 高 <small>たか</small> く <small>く</small> 稲 <small>いな</small> 穂 <small>ほ</small> 波 <small>なみ</small> う <small>う</small> つ <small>つ</small> 故 <small>ふる</small> 郷 <small>さと</small> と <small>と</small> 元 <small>げん</small> 気 <small>き</small> な <small>な</small> 挨拶 <small>あいさつ</small> 聞 <small>き</small> こ <small>こ</small> え <small>え</small> ま <small>ま</small> す	梵 <small>ぼん</small> 天 <small>てん</small> 祭 <small>まつ</small> りに <small>に</small> 身 <small>み</small> を <small>を</small> 清 <small>きよ</small> め <small>め</small> 五 <small>ご</small> 穀 <small>こく</small> 豊 <small>ほう</small> 稔 <small>じょう</small> 願 <small>ねが</small> いを <small>を</small> 込 <small>こ</small> め <small>め</small> て <small>て</small> 平 <small>ひら</small> 石 <small>いし</small> の <small>の</small> 夏 <small>なつ</small> 賑 <small>にぎ</small> や <small>や</small> か <small>か</small> に <small>に</small> かわ <small>かわ</small> す <small>す</small> 言 <small>こと</small> 葉 <small>は</small> も <small>も</small> は <small>は</small> ず <small>ず</small> み <small>み</small> ま <small>ま</small> す <small>す</small>	鬼 <small>き</small> 怒 <small>ぬ</small> の <small>の</small> 流 <small>なが</small> れ <small>れ</small> の <small>の</small> 潤 <small>うる</small> み <small>み</small> に <small>に</small> 緑 <small>みどり</small> の <small>の</small> 大 <small>だい</small> 地 <small>ち</small> 花 <small>はな</small> 咲 <small>さ</small> き <small>き</small> 乱 <small>みだ</small> れ <small>れ</small> 平 <small>ひら</small> 石 <small>いし</small> の <small>の</small> 春 <small>はる</small> 華 <small>はな</small> や <small>や</small> か <small>か</small> に <small>に</small> ほ <small>ほ</small> こ <small>こ</small> ろ <small>ろ</small> ぶ <small>ぶ</small> 笑 <small>えが</small> お <small>お</small> に <small>に</small> で <small>で</small> あ <small>あ</small> い <small>い</small> ま <small>ま</small> す <small>す</small>	



夢あるまちへ 宇都宮100年
 きみにつたえたい 自然を 文化を 未来を



地域ビジョン策定委員会

平石地区地域ビジョン

発行年月日 平成30年3月

発行者 平石地区地域ビジョン策定委員会
事務局：平石地区市民センター内
☎028-660-1964

【表紙写真撮影協力】

元平石北小学校校長 増渕 茂泰・北組自治会 印南 洋造



平石地区シンボルマーク